

意見文を書く ～論理的思考を手に入れるために～

目的 みんなが相手に伝わる意見文の構造を理解する。
 目標 みんなが意見文のフォーマットに合わせた文章、理由と結論が結びついた文章を書けるようになる。

(課題)オリジナル意見文作成 学年末考査テスト問題 600字 35点分)

「日常性の壁」の構造を元に、オリジナル意見文を作成する

以下の論理の構造積み木に合わせて、構想を練り、オリジナル意見文を作成してみよう。ただし、内容は、構造積み木のA(結論)のような内容を伝えるための文章とする。

(1)には(2)を(3)と考えている人を入れる。「日常性の壁」の文章を例にとると、

(1)……一般的な人みんな (2)……蛇への生理的嫌悪感の正体
 (3)……人類の太古の記憶
 題材として、「日常性を簡単に推測できない」ために、誤解や嫌悪感や無理解を生んでいるものを選ぶこと。
 文章のフォーマットは書く内容によって変わるが、大枠は「意見文を書く」のフォーマットとする。

一般的には(1)にとって(2)は(3)と思われているが、実は違う。その理由は(1)にその「日常性」を推測できないからである。

(3)と思われているが、それは誤解であり、実は(4)であるということを書く。

「(3)と思われているが、それは誤解である」ということを支える事実(具体例)を書く。

「その理由は実は(4)である」ということを支える事実(具体例)を書く。